

ぴっぷ議会だより

4月1日 うれしば保育園ぴっぷ入園式

新しく入園したお友達や進級したお友達。
ドキドキ♪ワクワク♪ニコニコ♪と
いろいろな表情を見せていました。
楽しい毎日をご過ごしてくださいね。



- 2 審議結果「第1回定例会」
- 4 一般質問
- 7 令和3年度各会計予算審議
- 11 委員会の活動報告
- 13 6年生による比布町活性化プロジェクト
意見発表会



令和3年度各会計予算など議案25件を審議

3月8日～11日

第1回定例会

3月8日から11日に開かれた令和3年第1回定例会では町の課題等に対し、3議員が一般質問をしました。議案25件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4～6ページに掲載しています。

条例

◆比布町議会議員及び比布町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

資産の多少にかかわらず立候補や選挙運動の機会均等を図ることを目的に公職選挙法が改正され、一定の範囲で立候補者の選挙運動費用の一部(自動車の使用、ビラ・ポスターの作成)を公費で負担する制度です。
【原案可決】

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための比布町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

◆比布町墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
旧火葬場を改修整備した共同墓の供用開始に伴い、使用料など必要事項を定めるものです。
【原案可決】

◆比布町介護保険条例の一部を改正する条例

第8期比布町高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～5年度)策定に伴い、保険料を改正するものなどです。
【原案可決】

◆比布町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆比布町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆比布町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆比布町指定居宅介護支援等の事

業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

虐待防止の推進、業務継続に向けた取組の強化、感染症対策の強化など国の制度見直しに伴う条例改正です。
【原案可決】

決定

◆損害賠償額の決定
除雪作業中の事故による損害賠償額が決定されました。
【原案可決】

補正予算

【令和2年度】

- ◆一般会計(第10号・第11号)
- ◆国保特別会計(第2号)
- ◆後期高齢者特別会計(第1号)
- ◆介護保険特別会計(第4号)

令和2年度各会計補正予算（第1回臨時会）
一般会計（第9号） 3,779万3千円の増（総額45億2,351万3千円） ■ふるさと応援寄付金事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対策費の増ほか
令和2年度各会計補正予算（第1回定例会）
一般会計（第10号） 9,110万4千円の減（総額44億3,240万9千円） ■情報化促進事業、火葬場維持管理事業の減ほか
一般会計（第11号） 2,606万8千円の増（総額44億5,847万7千円） ■担い手確保・経営強化支援事業の増ほか
国民健康保険特別会計（第2号） 161万9千円の減（総額5億6,342万9千円） ■健康づくり講演事業の減ほか
後期高齢者特別会計（第1号） 96万9千円の増（総額6,986万8千円） ■後期高齢者医療広域連合納付金の増ほか
介護保険特別会計（第4号） 1,651万1千円の減（総額5億9,970万2千円） ■介護サービス給付費の減ほか
観光事業特別会計（第2号） 530万円の減（総額1億6,236万2千円） ■スキー場運営事業の減ほか
簡易水道事業特別会計（第1号） 1,270万9千円の減（総額2億3,673万3千円） ■簡易水道等施設整備事業の減ほか
公共下水道事業特別会計（第1号） 364万円の増（総額7,562万4千円） ■下水道施設整備事業の増ほか
令和3年度各会計補正予算（第1回定例会）
一般会計（第1号） 8,051万1千円の増（総額38億9,351万1千円） ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対策費の増ほか（事業所応援給付金交付事業・商品券給付事業など）



◆観光事業特別会計（第2号）
 ◆簡易水道事業特別会計（第1号）
 ◆公共下水道事業特別会計（第1号）
 【令和3年度】
 ◆一般会計（第1号）
 補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。 【原案可決】

発議
 ……………

◆議会広報特別委員会の設置
 議会広報特別委員会委員の任期は2年と定めており、任期満了に伴い委員会を設置するものです。 【原案可決】

第1回臨時会
2月15日

補正予算
 ……………

◆令和2年度
 ◆一般会計（第9号）
 補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。 【原案可決】

教えて！議会のぎもん

Q 町議会はいつ開会しているの？

A 町議会は、3月、6月、9月、12月に行われる年4回の定例会のほか、必要に応じて開かれる臨時会があり、予算や条例などを審議・決定しています。なお、議会が開かれるときは無線放送等で開催日時をお知らせしています。

みなさんも 議会を傍聴しませんか

第2回議会定例会は6月中旬に開会します。くわしい日程は無線放送等でお知らせします。傍聴の際はマスクの着用をお願いします。

議案などの資料も用意しています！



比布町の教育の未来は

北川教育長

子ども一人ひとりの学びを支え 地域の発展を支える人材を育成したい



植西 浩一 議員

① ぴびたくの運用について

□ 質問・植西議員

ぴびたくの運用をより安全にするために冬期間など視界不良時に右折時の方向指示器を明確にすることやライトカバーに雪が付着しないような工夫は可能でしょうか。

■ 答弁・村中町長

法令で改造などをする事は認められていません。そのため、早めにウィンカーを点灯したり始業前点検を徹底するなどして対応します。また、天候不順などで安全を確保できないと判断した場合には運行を休止する場合があります。

② 比布町の教育の未来について

□ 質問・植西議員

比布町はどのように教育を考えたの様に若者を育て、そして感性を育てていくのかお聞かせください。

■ 答弁・北川教育長

未来を担う無限の可能性を秘めた子どもたちが、自らの感性や創造性を磨き、持続可能な社会の創り手としての資質・能力を身につけ、幸せな人生を歩んでいくために教育の果たす役割は極めて重要です。

義務教育9年間は人生の中ではわずかな期間ですが、子どもたちが成長していく上では大変貴重な9年間です。「子ども一人ひとりの学びを支える教育の充実」、「地域の発展を支える人材の育成」を基本に子どもたちの力を育んでいきたいと考えます。

そして、義務教育終了後には「生きる力」の下地ができればよいと思います。そのために学校外の様々な方と関わったり、いろいろな体験をすることによって、子どもたちの良さを認め、可能性を育てていくような教育を目指していきたいと考えています。また、そのような学校になるような人事も進めていきたいと思っています。

□ 質問・植西議員

先生方の趣味を生かしたり、外部の方々の活動を子どもたちに直接伝えるような工夫はできますか。

■ 答弁・北川教育長

趣味を授業に生かしている事例は知っています。先生方が休日などに好きなことに打ち込み、それが授業に生かされることは、生きた学びにつながるものと思います。

□ 質問・植西議員

埼玉県的事例で、特殊な技能や

趣味などを持った方が授業をするという取り組みがあります。それによって子どもたちだけでなく先生方も視野を広く持てるようになっていくようです。この事例についてはどのようにお考えですか。

■ 答弁・北川教育長

先生方の趣味や遊びを授業などに取り入れたり、外部の方に来ていただき、子どもたちに貴重な体験をさせることにより生きる力、自分で考える力が身につくのではないかと思っています。

学校では集団が固定化されてしましますので、様々な人との関わりが大事だと思います。多くの方とふれあい、関わりを持つことで子どもたちがさらに力をつけ、たくましく育つような教育活動を学校と連携を取りながら進めていきたいと考えています。



地域の方々とともに中央小学校
田植え体験 (令和元年5月撮影)



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

後期高齢者の 福祉医療給付制度の実現を

村中町長

他の施策とのバランスも考慮した上で
必要な助成制度の充実に努めたい



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

75歳以上の後期高齢者医療制度の窓口負担2割への引き上げは、令和3年10月の予定です。これは単身なら年収200万円以上、複数人世帯なら75歳以上の年収合計が320万円以上の方の負担割合を1割から2割にする制度です。

経済的理由により、ますます必要な医療を受けられなくなってしまう高齢者の健康と命を脅かす負担増は許されるものではなく、頼りの年金も目減りするなど高齢者の生活苦が続くもとの、格差と貧困に拍車をかけることにしかたらないと思います。

75歳になると、それまで入っていた国民健康保険や協会けんぽなどから脱退させられ、「後期医療」に加入することになり、現在全国で約1,700万人、比布町では900人が加入しています。また、低所得者の保険料滞納は毎年20万人以上にもなっており、滞納した人へ



の差し押さえも増加しています。

「後期医療」制度を廃止して元の老人保健制度に戻し、窓口負担やこれ以上保険料がアップする仕組みなどをなくすべきと考えます。

高齢者の負担軽減のために自治体に何ができるかを考えると、今やるべきは、住民税非課税世帯のひとり暮らし高齢者や寝たきり・認知症高齢者の窓口負担が無料となる制度への支援だと思えます。

自治体は住民を守る砦といえます。高齢者医療費窓口負担増への考えと、安心して病院にかかれる低所得高齢者への命を守る福祉医療給付制度を実施する考えについてお伺いします。

■答弁・村中町長

現在、北海道が実施している福祉医療制度は、重度心身障がい者、ひとり親家庭等及び乳幼児への医療給付3事業となっており、本町ではこれに乗せする形で、中学生から高校生までの医療費無料化や精神疾患で入院されている方への入院費助成を独自に行っています。

さらに後期高齢者医療の窓口負担を無料化するためには相当な財源確保が必要になります。後期高齢者医療制度における自己負担額については、国の制度に基づき一

定の軽減措置が講じられていますので、現状でのご理解をお願いします。

他県では福祉医療制度として、後期高齢者の被保険者で市町村民税非課税のひとり暮らしの方などを対象に、保険診療分の自己負担相当額を窓口で無料にしている市町村もあるようです。しかし、医療の高度化や高齢化の進行に伴い福祉医療費は年々増加の一途をたどっており、財源確保が大きな課題となっている状況でもあるようです。

できることなら制度を実施したいところですが、難しい問題もあります。今後においても財政の健全化に取り組みつつ、他の施策とのバランスも考慮したうえで必要な独自の助成制度の充実に努め、いつまでも健康で幸せを感じ、心豊かに暮らすことのできるまちづくりを進めていきます。





澁谷 興二 議員

役場庁舎改築の今後の計画は

村中町長

できる限り早期に利便性の高い 総合庁舎を建築できればと考えている

□質問・澁谷議員

現庁舎は昭和34年に落成し、築60年を超え老朽化が進んでいます。第12次まちづくり計画には、役場庁舎改築の検討とあり、また令和2年度の執行方針には国の定めるガイドラインに基づく「公共施設個別施設計画」を策定し、各施設の改築・改修・維持管理について具体的な方向性を定めると記載されています。

平成27年11月に庁舎建設の基本構想、事業スケジュール、職員チームの設置、建設予定地等が示され、基金も創設されましたが、その後中学校や火葬場の建設が先行し、認定子ども園舎の建設計画が進む中、今後の役場新庁舎建設について伺います。

- ①当面現庁舎の延命化は
- ②人口減が進む中、防災拠点、消防を含めた総合庁舎の構想
- ③令和2年度に策定した公共施設個別施設計画の内容は
- ④今後の計画と有利な補助財源は

■答弁・村中町長

現庁舎は竣工後61年が経過し、平成11年策定の第8次まちづくり計画では、建設に向けての検討が計画されましたが、市町村合併問題や地方行政改革の推進により第9次・第10次まちづくり計画では削除されました。しかし、23年

に発生した東日本大震災により、防災拠点としての庁舎の役割の重要性が認識され、27年に改築に向けた「比布町庁舎建築基本構想」を策定しました。

現庁舎は22年度に実施した耐震診断において基準を大きく下回り、震度6弱等の地震で倒壊の可能性があります。耐震改修工事費も改築工事費に匹敵する約6億円と試算されたことから、延命化ではなく改築する方向が適切であると考えています。

また、コンパクトで効率的な行政運営を行う観点から老朽化が進む消防庁舎や福祉会館、保健センターの機能を合わせ、複合的な総合庁舎とすることが望ましく、中学校や公営住宅などの大型事業による償還金のピークを令和5年に迎えますが、改築に向けて実現可能な行程表の作成を本年度中にスタートし、できる限り早期に利便性の高い総合庁舎が建築できればと考えています。

昨年度策定した「公共施設個別施設計画」は建築物に関する情報を一元管理し、修繕の優先順位や時期、費用などを掲載しています。役場庁舎の建築には多額の支出が予想されますので、償還金の推移や町民への将来的負担などを考慮し進めたいと考えます。

□質問・澁谷議員

平成27年の計画概要を推進するのか。また、新たな建設計画を進めるのか。

■答弁・村中町長

すでに5年以上経過しています。27年の基本構想をベースに修正や変更を加える部分もあるかと思えます。

□質問・澁谷議員

建設に向けて、今後の人口減と再度の耐震診断の実施は。

■答弁・村中町長

耐震診断は改めて行いませんが、基本構想、基本計画、実施計画と今すぐ進んでも着工に4、5年かかります。時間をかけながらもできる限り早期に建築したいと思えます。

□質問・澁谷議員

後年度負担と令和2年度剰余金を庁舎整備基金に積み立てる考えは。

■答弁・村中町長

基金への積立も考えたいと思います。総合庁舎建築費用は約20億円と試算しています。役場庁舎の改築に対する補助はありませんが、福祉会館は過疎債、消防庁舎は緊急防災事業債等も活用できます。有利な財源を様々な使いながら極力町民負担を抑えるように努めますが、後年度負担をいたたく必要があるため、多くの議論や意見を伺いながら建設したいと考えます。

令和3年度各会計予算審議

令和3年度各会計予算は、議長を除く議員8人で構成する予算特別委員会（委員長・佐藤康則副議長）を設置し、3月9日に審議を行いました。

定例会最終日の3月11日に佐藤委員長から審査結果の報告があり、原案のとおり可決しました。

令和3年度会計別予算

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	38億1,300万円	35億6,500万円	7.0%
国民健康保険特別会計	5億4,914万円	5億5,580万円	▲1.2%
後期高齢者医療特別会計	7,128万円	6,890万円	3.5%
介護保険特別会計	5億7,443万円	5億8,015万円	▲1.0%
観光事業特別会計	1億5,295万円	1億6,766万円	▲8.8%
簡易水道事業特別会計	2億4,435万円	2億4,944万円	▲2.0%
公共下水道事業特別会計	6,725万円	7,198万円	▲6.6%
合計	54億7,240万円	52億5,893万円	4.1%

▽使用料及び手数料

【遠藤委員】町営住宅使用料が前年度と比較して減額となっているが、現在入居可能な所は多くあるのか。今後の人口増に繋がる使用料にどう思うか。

【建設課長】建替事業に関わる政策空き家が増えたことによる減額です。公営住宅は民間住宅等に入居できない方の受け皿として整備していますので、直接の人口増には繋がらないと思います。

▽町債関係

【今井委員】町長の執行方針において、ぴっぷクリニックに対し経費節減など経営改善を求めるとの話もあったが、町立診療所という規模の中で昨年のCT装置に続いてエコー装置が必要なのか。

【保健福祉課長】今回は更新としてぴっぷクリニックからも必要性や利用状況について説明を受けており、必要なものと判断しています。

▽総務費関係

【大熊委員】ふるさと応援寄附金のポータルサイトを集約し、業務量

や経費を縮減する考えは。

【総務企画課長】現在4か所のポータルサイトを利用しており、相応な事務量ともなりますが、会計年度任用職員を活用しながら、より多くの寄付をお願いしたいと考えています。

【植西委員】会計年度任用職員報酬が増えているが、今後の任用職員の配置計画や費用はどう考えるのか。また、職員の負担状況を考えて増やす必要があるのではないか。

【総務企画課長】人員は極力増やさないようにと考えており、採用が難しい専門的な技術を持った方について有効に活用していきます。

【村中町長】役場の業務も変わってきており、今後は専門的分野に対応できる人材がより多く必要となるかもしれないので、外部人材の登用も研究し、人材の確保に努めます。

【澁谷委員】職員給与費について、職員定数は83名とする中で職員数が不足との声も聞くが、任用職員を採用する中で定数について改正はしないのか。

【総務企画課長】実際の職員数は71名で定数を下回っていますが、行政改革プランの目標もあり、補完

する部分として任用職員を活用しています。

【今井委員】 JR蘭留駅の存続として今回200万円が計上されているが、今後も継続するのか。また、スキー場と併せて活用するなど町として残していく施策も必要ではないか。

【総務企画課長】 蘭留駅を当面存続させるために必要な維持管理費用で毎年かかります。蘭留地区の方々との話し合いでも当面として理解をいただいております。3年度に検討を行う公共交通体系においてご意見をいただきたいと思えます。

【濫谷委員】 比布は蘭留地区から栄えてきていて公営住宅などもあり、地域利用者の年齢や通学の状況を調査するなど、地元が納得するまで蘭留駅は残すべきだ。

【総務企画課長】 当面という点については、蘭留地区に暮らす子どもたちが高校に通学するのに不便とならないようなことなども一つの基準となると思えます。

【谷口委員】 北比布駅と南比布駅待合所の再利用について、公共施設の喫煙所としてではなく比布駅の周辺に集約してはどうか。

【村中町長】 駅が存在したという証

拠については何らかの形で残していきたいと思っておりますが、建物自体は新しく、歴史も浅いことから有効に活用したいと思えます。

【大熊委員】 運動と食による脳の活性化事業の内容と町民への周知方法は。

【生涯学習課長】 幼児から小学生を対象に運動教室を実施します。

【総務企画課長】 町民向けに講演会を開催し、PRを行います。

【榎西委員】 統計調査費において経済センサス事業とあるが、旭川大学で産業連関図を作成しているの、連携し活用できないか。

【産業振興課長】 今後の参考としたと思います。

▽民生費関係

【安藤委員】 運動と食による脳の活性化事業について、くるみ保育園の給食などに対しても町として関わる考えは。

【保健福祉課長】 町として地産地消にも力を入れており、保育園に対しては支援等も実施することから協議は行います。

【遠藤委員】 ぴびたく事業は乗り合

いが増えており、万が一の際の安全を考えて普通乗用車を使うことは考えていないのか。

【保健福祉課長】 利用状況や維持費を考え、安全運転に配慮しながら引き続き現状の軽自動車で行う考えですが、公共交通機関を含めた対策、協議も併せて進めます。

【今井委員】 ぴびたく事業は行政サービスとして要望に応じ対象者の見直しを考える必要があるのではないかと。また、町民の移動支援の現状とぴびたくのあり方についてどう考えるのか。

【保健福祉課長】 全ての要望に応えることは難しい面もあり一定の線引きが必要となりますが、基準を見直す必要があれば協議をします。

【村中町長】 無償ではなく有償でもよいとの意見や比布駅までの移送手段を望む意見もありますので、様々な意見や課題を伺いながら令和3年度中に町としてどういう交通体系がよいのか検討を行うこととしていきます。

【濫谷委員】 社会福祉関係の運営費補助金については今回申請額の9割を補助することだが、新たに大悲会からも高額の要望があり、今までの運営補助とは性格が異なるのではないかと。また、事務職員

などの派遣要望はなかったのか。

【保健福祉課長】 大悲会には各事業について町が行う部分を担っていただいている面もありますので、これまでの事情も確認し、経営改善を行う約束のもと、支援する考えです。なお、人材派遣についての要望はありません。

【村中町長】 民間施設に対する支援ではありませんが、町の福祉を守っていたいただいております。福祉の低下とならないためにも支援を行います。それぞれの経営改善計画を確認した上で、自助努力のお願いも含めた9割補助としています。

▽衛生費関係

【遠藤委員】 町民総合健診事業について、家族ぐるみで後期高齢者の方も一緒に健診を受けてもらってはどうか。また、歯科検診も取り入れては。

【保健福祉課保健係長】 町の集団健診であれば家族ぐるみで受けることは可能です。また、歯科検診については集団健診と同時に行うことは難しいですが、3年度からは対象者を拡大して案内します。

【今井委員】 診療所の指定管理料について、赤字補てんは毎年求めら

れるものなのか、会計の収支を議会にも示す必要があるのでは。また、今後の契約について検討が必要では。

【保健福祉課長】今回はコロナ対策分としており、毎年の赤字補てんを前提とするものではありません。しかし、今後の状況にもよりますが、町立診療所を守るために必要な部分については支援していく考えです。会計の収支書類は提出されていますが、どこまで開示するかについては、他の指定管理者とのバランスもありますので、協議が必要だと思います。

【村中町長】会計の収支については、町が支援をする際においては、その状況を示す必要があるものと思っています。また、契約に際しては併せて地域医療への貢献をお願いしていますので、それができないのであれば考える必要もあるかもしれません。

入院病棟を維持しながら町立診療所を設置する負担は他の診療所と比較すると相当少ないことから、その努力にも敬意を表するとともに町民の健康を守るための負担は必要と思います。

【谷口委員】共同墓について、町外への周知方法などは考えているのか。

【税務住民課長】ホームページに概要を載せる程度で、広く周知することは考えていません。

▽農林業費関係

【大熊委員】びっぴいちご振興事業について、100年の歴史があり記念事業とのことだが事業内容は。【産業振興課長】今後、実行委員会を組織し、具体的な事業を協議していきます。

▽土木費関係

【安藤委員】除雪作業によって歩道が削られ補修を繰り返しているが、改善できないか。【建設課長】配慮はしていますが、排雪の量を減らすためにできるだけ低くして除雪を行っていますのでやむを得ない面もあり、点検して修繕をしています。

▽教育費関係

【遠藤委員】学校の暑さ対策として全国的にクーラーの設置が進んでいるが本町ではどうか。また、図書館の本の背表紙が日光で焼けて

しまうがその対策は。

【生涯学習課長】3年度に小学校4〜6年生の教室に遮光カーテン、保健室にエアコンを設置します。図書館についてはカーテンを下ろして対応しています。

【今井委員】町技がバレーボールの本町にはヴォレアスというプロチームがあり、また、スキー場も有する町として、プロのスポーツ選手を育成するようなこだわりをもってみてはどうか。【生涯学習課長】バレーについては少年団ができないと難しく、学校での部活についても課題がありますが、町技としてのバレー選手の育成は大切だと考えています。

【村中町長】そのような子どもたちが育つ町が理想的だと思っています。指導者の人材確保など課題等もあることから早期の実施とならないかと思いますが、支援を含め考えていきます。

【大熊委員】義務教育学校に移行していく中で一貫したキャリア教育が必要と思うが、君の夢プロジェクトを小学生も対象にする考えはあるのか。【生涯学習課長】小学生のキャリア教育については学校や社会教育の事業として行っていく考えであり、

3年度では考えていません。【北川教育長】君の夢プロジェクトのあり方については3年度中に改めて検討します。

【谷口委員】4年度から義務教育学校に移行するとの説明だが、他の町のモデルとなるような学校を作るべきでは。

【北川教育長】今後多くの学校が義務教育学校に移行していくと思います。目的は様々であり、本町では子どもたちのための義務教育学校を目指し、全国に発信できるように進めていきます。

【安藤委員】放課後児童クラブは、多くの児童を青少年会館の一室で対応しており、発熱した児童を別室で保育できない状況なので対策が必要だが考えは。【生涯学習課長】現在の場所では別室の確保は不可能であり、現状では保護者の協力をお願いする形となります。場所については今までも検討をしていますが、今後も児童が増える可能性もありますので引き続き検討します。

【澁谷委員・今井委員】今後考えるでは先送りとなってしまっているので早急に対応するべきでは。

【北川教育長】児童クラブは家庭や学校に代わる成長の場と考えてい

ますので、3年度に向け早速検討します。

【村中町長】現在の青少年会館の建替は困難な中で、今後の義務教育学校による空きスペースや旧中学校での事業者による運営の可能性などもあることから、中長期的に意見を伺いながら児童クラブの環境改善も進めていきます。

【榎西委員】放課後児童クラブを業者に委託するのであれば、病院に行く必要になった際の病児保育やデイサービスなどの機能についても設置できないか。

【村中町長】様々な新たなサービスがありますが、本町の子どもたちにとって何が本当に必要なのかを考え、よりよい環境づくりを進めます。

▽観光事業特別会計

【榎西委員】スキー場従業員を募集しても人が集まらないとのことだが、政策空き家を活用して道内・道外と広く募集してはどうか。また、除雪作業にも従事することで生計を確保できるようにしてはどうか。

【産業振興課長】人数不足の問題については企業からの出向や人材派遣業により対応していますが、技

術者確保の面での課題が大きく、まずは町内と近郊での募集を主に行いたいと考えています。住み込みでの受け入れも検討できると思いますが、除雪作業への従事については検討することが多いと思います。

▽総括質疑

【榎西委員】コロナウイルス禍において経済活動が縮小し、働く場が減少することで若者が流出し、さらなる人口減少が進んでしまいが、今後の自治体運営の考えと新年度予算に込めた思いは。

【村中町長】2年度は多くの事業が実施できなかったことは残念で、今後はワクワクン接種に期待し、人が動くことで町も人も元気になればと願っています。住みたいところに住み続けるにはどうすればいいのか、町に課題のない分野はないと思っており、また時代によって新たな課題が生まれることから、そのときのベストな選択をし、丁寧に課題を解決しながら、町民の皆さんが住んで良かったと思える町に向けて進めていきます。

【遠藤委員】本年度、びっぷクリニクスに対する赤字補てんに際して決

算を精査するのは行政では難しいことから税理士に依頼し行われており、また、3年度は介護事業所と福祉団体からも補助の要望があるなど、いずれも町にとっては必要不可欠な施設であり致し方無いと思うが、町の税金の使われ方が一変する様相になっている。今後全体の決算報告を求めていく考えなのか、また、準公的機関に対する監査についてどのように考えているのか。

【村中町長】各施設については様々な運営形態があることから、その支援についても一律の対応とはならないと考えており、びっぷクリニクスについては医療に対するノウハウがないため専門家の意見を伺ったものです。社会福祉法人についても一定程度必要とは考えています。今後もそれぞれの施設の特性に応じた財務状況の確認方法を実施しながら運営を止めないよう支援するとともに経営改善をお願いし、町として必要な施設を維持していくことが町民のためになると思っています。

【今井委員】近隣町では患者数の減少やスタッフの確保、町会計からの繰入増の理由から医療法人と医療提携を行い、今後病院を無床化するが、同様の課題を持つ本町も

長い目で今後見たときに医療体制の一つとして考えるべきではないかと思うがどうか。

また、空き家の件について、今住んでいる方、またはこれから住宅を建てる方と後々の使い方について協定や契約を結ぶことを考えてはどうか。

【村中町長】他町では相当な額を繰り入れていますが、びっぷクリニクスは町民の健康を守る地域医療機関として、病床を維持しているがらの経営は適切だと認識しています。町民にとっても病床があることで近くに家族がいるという安心感が生まれます。比布町の負担としては適切だと思いますが、検討するときははいずれ来るとも思いますので、いつまでも今のままでとの考えではありません。

また、空き家について個人の財産を行政がしぼることは難しく、協定では法的効力もないと思われるます。新たな空き家を作らないためにも担当課だけではなく関係各課が連携して取り組んでいます。実際に空き家は心の問題であることもあり、研究を続けながら対策を進めていきます。

委員会のactivities

活動

総務常任委員会

2月15日開催

【総務企画課・保健福祉課】

《協議事項》

■第1回議会臨時会提出議案

総務常任委員会

3月1・2日開催

【保健福祉課】

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための比布町国民健康保険に係る保険給付の臨時特例に関する条例の一部改正案

◇比布町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正案

◇比布町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予

防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正案

◇比布町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正案

◇比布町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正案

◇令和2年度各会計補正予算案

◇令和3年度各会計予算案

■社会福祉法人等への財政支援

◇社会福祉法人社会福祉協議会

◇社会福祉法人大悲会

◇医療法人社団友崇会

《その他》

■くるみ保育園新園舎建設計画延期について

新園舎建設は、改善計画に基づき一定程度の経営改善が見込まれてから改めて協議することとし、認定子ども園への移行に向けても継続して協議してまいります。

【税務住民課】

《報告事項》

■町税等の収納状況（1月末）

■上川広域滞納整理機構の収納状況

■マイナンバーカード交付状況

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇比布町墓地の設置及び管理に関する条例の一部改正案

◇令和2年度一般会計補正予算案

◇令和3年度一般会計予算案

【生涯学習課】

《報告事項》

■令和3年度児童生徒数と学級編制数（予定）

■学校運営協議会

■中学校卒業旅行

■義務教育学校移行

■令和3年（第72回）成人式

■町民スキー・スノーボード教室

■ぴっぴスキー場GS競技大会・町民スキー大会

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和2年度一般会計補正予算案

◇令和3年度一般会計予算案



町民スキー大会

【総務企画課】

《報告事項》

■第1回議会定例会提出議案

■令和3年度地方財政対策

■令和3年度各会計当初予算案

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の状況

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和2年度一般会計補正予算案

◇比布町議会議員及び比布町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

公職選挙法の一部改正により、町村議員または町村長選挙において、選挙期間中の選挙運動用自動車・ビラ・ポスターの費用を公費負担とすることができるとなつたため、手続きや限度額等を町条例で定めるものです。町村議員選挙にも供託金制度が導入されます。



北比布駅廃駅イベント

産業建設常任委員会

2月8日開催

【産業振興課】

《協議事項》

■第1回議会臨時会提出議案

産業建設常任委員会

2月24日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■町単独事業実施状況

■令和3年度産米「生産の目安」

■水田リノベーション事業

■高収益作物次期作支援交付金

■ぴっぴいちご振興事業（2期目）の経過

■多面的機能支払交付金事業

■比布町型スマート農業推進事業の交付決定



冬いちごの収穫風景

産業建設常任委員会

3月11日開催

【産業振興課】

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和2年度一般会計補正予算案
◇令和3年度一般会計補正予算案

【建設課】

《協議事項》

■除雪車両・公用車の事故報告

■第1回議会定例会提出議案

◇損害賠償額の決定について

◇令和2年度一般会計補正予算案

全員協議会

3月8日開催

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

【教育委員会】

◇義務教育学校について

【総務企画課・産業振興課】

◇新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金（3次補正）
に係る補正予算・事業について



スキー場スノーアクティビティ

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和2年度一般会計補正予算案

◇令和3年度一般会計予算案

■令和2年度補正担い手確保・経営強化支援事業

▽商工・観光部門

《報告事項》

■令和2年度各施設の利用状況

◇遊湯びっぴ 前年同期71・0%

◇びっぴふスキー場 前年比64・7%

■令和2年度商工業振興補助事業

■新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況

(1)「がんばろう！ぴっぴ応援特別
商品券」給付事業

商品券利用率98・2%、食事券
利用率94・0%（最終実績）

(2)商工業振興補助事業（新型コロナ
ウイルス感染症対策型）

12事業所 362万6,109円

(3)良佳村エリアの魅力磨き上げ事業

四輪バギー、スノーモービル等

備品の購入、格納庫建設工事ほか

(4)観光施設利用促進事業

ぴっぴの観光応援商品券利用率
75・38%

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和2年度各会計補正予算案

◇令和3年度各会計予算案

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和2年度各会計補正予算案

◇令和3年度各会計予算案

【農業委員会】

《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農
用地集積状況

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和2年度一般会計補正予算案

◇令和3年度一般会計予算案

6年生が議会に提案 比布町活性化プロジェクト意見発表会

3月11日（木）、中央小6年生24人による「比布町活性化プロジェクト」意見発表会が福祉会館大講堂で行われました。

5年後までに比布町を住みよい町にするためにとのコンセプトで、6つの班からプレゼンテーションがあり、どの班も自分たちで調べたデータをグラフ化したり、写真

などでわかりやすく示しながら比布町の未来について具体的なアイデアを発表しました。

比布町の町おこしに対して真剣に考えている子どもたちに感心するとともに、ぜひ実現に向け、議員として活動していきたいと思いをしました。

（安藤裕子）



住みよい町にするための6つの提案

- ### 1 通学時間チーム

高校生の通学費軽減と通学時間短縮に向けた解決方法の提案とメリット・デメリットについて説明がありました。
- ### 2 JRの交通費チーム

他地域との年間交通費を比較し、高校生の医療費助成の予算をJR定期代助成にまわしてはどうかという提案がありました。
- ### 3 空き地・空き家をなくそうチーム

空き地・空き家をそのまま放置することのデメリットと具体的な活用方法（高齢者向け食堂・植物を植える・セカンドハウスとしての活用・対策セミナーの開催）の提案がありました。
- ### 4 スキー場収入向上プランチーム

山頂にフォトスポットの設置、夏場は緩やかなコースを草そりの体験コースにし、集客と体力向上につなげるプランが提案されました。
- ### 5 公共施設チーム

図書館と改善センター休館日がともに月曜日のため不便なことから、曜日別の利用者数を検証し、望ましい休館日は図書館水曜日、改善センター火曜日というデータが示されました。
- ### 6 街灯チーム

子どもたちがよく通る道路で、街灯が少なく、不安に感じている箇所の夜間写真を例示し、事故防止や犯罪上の問題からも街灯設置を希望する意見がありました。



議会のうごき

2月

- 8日 全員協議会 (役場、全議員)
産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 9日 上川町村議会議長会定期総会 (旭川市、議長)
- 15日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第1回議会臨時会 (役場、全議員)
- 24日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)

3月

- 1日 総務常任委員会 ~ 2日 (役場、委員・議長)
大雪浄化組合議会定例会
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会 (愛別町、組合議員)
- 3日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 8日 第1回議会定例会 ~ 11日 (役場、全議員)
全員協議会 (役場、全議員)
- 9日 令和3年度予算特別委員会 (役場、委員・議長)

- 11日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
中央小学校6年生「比布町活性化プロジェクト」意見発表会 (福祉会館、全議員)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 23日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)

4月

- 14日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 22日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
- 23日 高速自動車道国道旭川名寄間建設促進期成会定期総会及び宗谷本線活性化推進協議会定期総会 (士別市、議長)
- 28日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第2回議会臨時会 (役場、全議員)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)

編集後記



『東日本大震災発生から10年が経過して』
本年も第1回定例会は被災された方々へ10度目の黙祷を捧げ開始されました。

平成25年10月、久保田正義元議長を先頭に右手県宮古市・大槌町・陸前高田市、宮城県南三陸町・石巻市・女川町・仙台市を視察し、被害に遭われた方々へのお見舞いと順に献花を手向けた情景を想起いたします。

大槌町では失われた命803人、不明者479人・家屋全半壊3717戸・災害危険区域(51か所)では約4600人が避難所生活を余儀なくされ、復興計画と実施計画の同時策定・災害対策の予算化と高台への宅地造成・地権者や相続人の調査・膨大な許認可と書類整備・ゼネコン被災による入札不調等、計り知れない苦労のまっ只中で、碓川前町長より復興に挑む覚悟を拝聴し、魂の震えと感銘を受けたことを印象的に記憶しております。

現在、報道では復興に向け確かな歩みと歴史が刻まれ、拝見した『旧大槌町庁舎』は賛否が問われ解体に至り、宮古市『たろう観光ホテル』・陸前高田市『奇跡の一本松』(レプリカ)・南三陸町『旧防災庁舎』等は復興のシンボルとして保存されているようです。

災害の現実には時に人々の記憶から薄れつつありますが、忘却されてはいけない出来事です。

(佐藤 康則)

議会広報特別委員会

- 委員長 安藤 裕子
- 副委員長 谷口 雅浩
- 委員 遠藤 雅子
- 佐藤 康則
- 大熊 勝幸